

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31211	ユニバーサルデザイン universal design	小笠原 英祐	基礎	2	選択	1・2年 後期
<b>科目の概要</b>						
<p>私たちの日常生活において、デザインされているものに接しない日がないほど、デザインに囲まれて生活をしています。そうした環境の中で、より使いやすいデザイン、多くの人に使い方が理解しやすいデザインを利用者の目線で追求して行くことがこれからのデザインに求められています。</p> <p>この講義では、実際に身の回りにある物のデザインを題材にし、ユニバーサルデザインの基本を理解し、改良点などの考察を通して実践的に学んでいくこと目的としています。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
<p>① ユニバーサルデザインの概要を理解する。</p> <p>② 利用者目線の為のデザインプロセス知識を前半の講義にて身に付ける。</p> <p>③ デザインすべき対象についてのリサーチ、情報収集を後半の演習にて実践的に訓練する。</p> <p>④ 自らのデザインをレポートとしてまとめ、プレゼンテーションの為の計画と準備をし、プレゼンで他者に明確に情報を伝える。</p> <p>⑤ 他者のプレゼンテーションに対し問題点等を瞬時に解析し、質問をする。</p>			<p>① 他のデザインとは概要が異なっていることを理解できていること。</p> <p>② 誰もが使い易いデザインを考察する為のプロセスを、演習にて実践できるようになること。</p> <p>③ メディアを駆使して必要な情報を的確に得ることができること。質疑に対し、得た情報を基に応答ができること。</p> <p>④ レポートという形態で情報をまとめることができ、プレゼンテーションでの情報伝達ができていること。</p> <p>⑤ 他者のプレゼンに真剣に耳を傾け、問題点等を瞬時に解析し、的確な質問ができていること。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	講義内容の取得に向けて、自主的、自発的に授業に取り組む姿勢であること。				
	働きかけ力					
	実行力	定められた期限までに、指定された課題を完遂させること。				
考え抜く力	課題発見力	事実に基づく情報を、客観的に収集、分析、整理ができること。				
	計画力					
	創造力	収集、分析した情報を多方面から客観視し、独自性のある理論展開ができること。				
チームで働く力	発信力	プレゼンテーションにおいて、自身の考えを分かり易く視聴者に伝えること。				
	傾聴力	他者の発言に対し興味を持って耳を傾け、意見を分析的に捉えることができること。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	社会人として当たり前の教養ある態度、対応がとれること。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
<p>テキスト：「情報デザインの教室」池田和博 丸善出版 ¥2,800、ISBN 978-4-621-08272-0</p> <p>参考文献：なし</p>						

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：特になし

資格との関連：情報処理士・ウェブデザイン実務士

**学修上の助言**

講義は主体的に参加すること。講義内で大事だと思う事柄は自主的、自発的にノートにまとめることが望ましい。

**受講生とのルール**

第 1 週目に説明する講義に対する受講態度、特に遅刻、欠席の扱いについて、よくその意図を理解すること。事前連絡が無い期限を過ぎたレポート提出は一切認めない。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			筆記試験は行わない。
小テスト			小テストは行わない。
レポート	60	① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんとレポート形態で情報がまとめられているか。(5点)</li> <li>・社会人としての教養ある文章表現ができているか。(5点)</li> <li>・収集した情報を分析的に記載しているか。(20点)</li> <li>・独自性があり、誰もが使いやすいデザインであることの説得性があるか。(20点)</li> <li>・デザイン物の図が明確に伝わりやすく記載されているか。(10点)</li> </ul>
成果発表 (口頭・実技)	20	① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第14、15回目に行うプレゼンテーションで、自身のレポート内容を分かりやすく視聴者に伝えることができるか。プレゼンテーションの為の十分な準備の痕跡が見受けられるか。(10点)</li> <li>・質疑応答において、質疑者はプレゼン内容をよく理解した上での確かな質疑ができるか。また応答者は質疑者の質問の意図を瞬時に解析し、適切な応答ができるか。(10点)</li> </ul>
作品			作品提出は行わない。
社会人基礎力 (学修態度)	20	① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/>	<p>(主体性) 受講態度の欠如(居眠り、余所事、私語雑談)が見受けられる場合は減点する。(1回につき-1点)</p> <p>(実行力) 事前連絡のない提出物の期限切れは不合格(※)</p> <p>(課題発見力) レポート(情報の分析的記載 20点)にて評価</p> <p>(創造力) レポート(独自性と説得性 20点)にて評価</p> <p>(発信力) プレゼン以外で、講義受講者全員にとって有益であると思われる情報を積極的に発言した場合は加算する。(1回につき1点)</p> <p>(傾聴力) 講義中、教員や発言者の方を見て話を聞く姿勢でなければ減点する。(1回につき-1点)</p> <p>(規律性) 遅刻、欠席について、社会人として当たり前の対応(事前連絡、遅延証明書等の提出)がない場合は減点する。(1回につき-4点)</p>
その他		① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/>	<p>※レポートの提出期限(第15週目、受講者全員のプレゼンテーションが終了しレポートを回収した時点)を守れない場合は、レポート評価分60点の減点とし、不合格とする。</p>
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>レポート提出が絶対条件。 無遅刻無欠席で、講義内での発言、レポート内容が講義をよく理解していると判断される場合。またそれを可能とする受講態度であること。 K(秀)は上記に加え、プレゼンテーションの準備を十分に し、説得力をもってプレゼンができていること。</p>	<p>レポート提出が絶対条件。 遅刻、欠席の対応による減点が少なく、講義内での発言、レポート内容が講義の内容を比較的 理解していると判断される場合。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	講義のねらい、進め方を説明するイントロダクション	講義 予習内容に対する理解があるかの質疑、解説	講義の進め方、講義に臨む受講態度、評価基準について理解できていること。	(予習)シラバスを熟読してこること。	240	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	携帯端末の例から見る、ユニバーサルデザインの基礎的な概要の理解	講義 予習内容に対する理解があるかの質疑、解説	他のデザインとユニバーサルデザインの概要の大まかな違いが説明できること。	(予習)教科書 P2～P7 を読んでこること。	240	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	各分野のデザインから見る、ユニバーサルデザインの役割とデザインアプローチ	講義 予習内容に対する理解があるかの質疑、解説	各分野のデザインにユニバーサルデザインの概要がどのように関わっているか理解できていること。	(予習)教科書 P14～P25 を読んでこること。	240	主体性 傾聴力 規律性
4週 /	デザインプロセスと情報収集の為の発想法の体験	講義 予習内容に対する理解があるかの質疑、解説	デザインプロセスについて、各段階の役割の重要性を理解できていること。	(予習)教科書 P34～P47 を読んでこること。	240	主体性 傾聴力 規律性
5週 /	使い手の立場に立ってデザインを考える、ユーザーセンタードesignの重要性の理解	講義 予習内容に対する理解があるかの質疑、解説	人間中心デザインの在り方が、使い手への思い遣りであることの重要性を理解できていること。	(予習)教科書 P34～P35 を読んでこること。	240	主体性 傾聴力 規律性
6週 /	人間規格を意識したデザインとヒューマン・インタフェースの在り方	講義 予習内容に対する発表、それに基づく内容解説	人間が使う物をデザインする為に、身体スケールでデザインをすることの重要性を理解できていること。	(予習)身の回りのインターフェースを 3 つ以上挙げるここと。	240	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	既存のデザインをユニバーサルデザインの観点からリデザインする最終課題の説明と、自主制作の開始	講義・演習 メディアを駆使した情報の収集、分析	最終課題の形態、提出方法、期限の確認、理解ができていること。	(復習)自身がリデザインすべき対象を次回までに 10 点以上列挙すること。	240	主体性 課題発見力 規律性
8週 /	既存のデザインをリサーチするリデザイン対象の調査	演習 メディアを駆使した情報の収集、分析	自身がリデザインする事柄に対して、デザインプロセスに基づく情報収集ができていること。	(予習)リデザインする対象を 1 点に絞る。	240	主体性 実行力 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	既存のデザインをリサーチするリデザイン対象の調査	演習 メディアを駆使した情報の収集、分析	自身がリデザインする事柄に対して、収集した情報の整理ができています。	(復習)コンセプト立案に向けて、情報の整理を完了させてくること。	240	主体性 実行力 課題発見力 規律性
10週 /	リデザインに向けたコンセプトの立案	演習 メディアを駆使した情報の収集、分析	デザインプロセスに基づき、リデザイン対象に対し、独自のデザインコンセプトを立案ができています。	(復習)次週までにコンセプト立案を完了させてくること。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
11週 /	コンセプト立案に沿ってリデザインの具体的な概要の確立、スケッチを行う	演習 収集した情報の整理、レポートの作成	デザインコンセプトに基づき、レポートを視野に入れた概要のまとめができています。	(復習)独自のリデザイン物の図を完成させてくること。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
12週 /	リデザインのプロトタイプングを行いデザインの実用性を仮実証する	演習 収集した情報の整理、レポートの作成	リデザインした対象について実用性の仮実証をしながらレポートへのまとめができています。	(予習)レポートの構成を確立させてくること。	240	主体性 実行力 創造力 規律性
13週 /	プレゼンテーションの計画と準備	演習 収集した情報の整理、レポートの作成、プレゼン準備	作成したレポートに基づいたプレゼンテーションの計画と準備ができています。	(復習)次週プレゼンテーションの実施に向けて準備をしてくること。	240	主体性 実行力 計画力 規律性
14週 /	プレゼンテーションによる発表	演習 プレゼンテーションの実施	出席必須。 自身が計画したプレゼンテーションの実施ができています。	(予習)プレゼンテーションの準備をしてくること。	240	発信力 傾聴力 規律性
15週 /	プレゼンテーションによる発表とレポート提出	演習 プレゼンテーションの実施	出席必須。 自身が計画したプレゼンテーションの実施ができています。レポート提出ができています。	(予習)プレゼンテーション、レポート提出の準備をしてくること。	240	発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力



